

9月26日（日）

東阿田町八幡神社の当家祭に行ってきました。神社から神様を当家（とや）宅に遷す祭りです。それでは神社に神様がないじゃないか、と心配される方もおられると思います。心配無用！ 遷すのは神様の分霊です。たとえば五條市には22社の御霊神社がありますが、すべて井上内親王を祀っています。井上内親王が22人もいるのか？ もとい、22柱（神様を数えるときは「柱」を使います）もいるのか？ 井上内親王の神は本宮におわし、他の21社には分霊がおわします。分霊だから神様の御利益が少ないとかいうことはありません。

話を戻します。当家宅では庭に御仮屋（おかりや）を作り、そこに神様をお遷しします。東阿田では御仮屋は青紐の竹で、大量の檜葉で覆います。ここに神を迎えて、およそ一カ月、神様を接待します。神様にとっては一年に一度の外出です。ゆっくり羽根を伸ばしてもらいましょう。10月17日に神社に戻ります。神様が通った地域は幸福が訪れると信じられています。それ以外のところの人は、神様がお渡りをする道端に立ち、幸福を授かります。

